

豊中みどりの交流会

こんな活動をしています！

みなさんのご参加
お待ちしております！

花苗プロジェクト

花がいっぱい咲きほころぶ公園『ふれあい広場SEED』で種から花を育て、公園をお花でいっぱいにする活動をしています。

また、育てた花苗は小学校や各施設・地域の公園や花壇を管理されている方々にも提供させて頂き、それぞれの地域でお花をいっぱい咲かせておられます。

主な活動日は第1土曜日と第3火曜日で9時30分から2時間程度の活動です。

ご都合の良い時のみの参加でOKです。おしゃべりしながら笑顔の絶えない楽しい活動です。

皆さんと一緒に花とみどりの輪を広げましょう。お待ちしております。初心の方も大歓迎です。



地域みどり学習プロジェクト

みどりについて広く学ぶ視点から、ヒント集の作成や見学会、地域のみどりの活動団体の紹介など、みどりに関して広く活動していきたいと思いで、みなさんのご参加お待ちしております。

活動に参加しませんか！！

★ 園芸を始めてみたい方、花や樹木を育てたい方、花壇の植付けやお世話をしたい方

★ ゴーヤのみどりのカーテンの活動に参加したい方、学校のカーテンづくりの支援をしたい方

★ 企画提案や立案をしたい方、みどりの広報活動をしたい方、交流会の運営に参加したい方

★ みどりのつどいに参加したい方、みどりのフォーラムに参加したい方

歓迎！！

みどりのカーテンプロジェクト

みどりのカーテンづくりの支援を始めて、今年で11年目を迎えます。今年度も32校の小学校とこども園などの市内の施設に参加いただくことになり、みどりのカーテンづくりの輪も年々広がっています。

4月に種まきしたゴーヤの苗も大きくなり、5月から各小学校や施設に配布し、植付け指導等を行っています。

立派なみどりのカーテンをつくって、たくさんのゴーヤが収穫できるように、みんなで頑張りましょう。



豊中みどりの交流会展

日時：平成30年6月6日（水）・7日（木）
10：00～16：00

場所：豊中市役所 第二庁舎 1階市民ロビー

内容：豊中みどりの交流会活動パネル展示

ゴーヤのカーテンや花の寄せ植え展示など



花苗・ゴーヤ苗の
プレゼント！
（数量限定）



平成30年(2018年)5月発行

第33号

豊中みどりだよりは、みんなで、どんどん、りょっか（緑化）しよう！という意味を込めて、豊中市でみどり活動を進められている方に向けて発信するニュースです。

Tiga

Toyonaka Green Action

2018年度の豊中みどりの交流会は



3月	2月	1月	12月	11月	10月	9月	8月	7月	6月	5月	4月
次年度準備 第3回みどりのつどい	次年度計画	みどりだより第35号発行	ふれあい広場SEEDの花苗植付け	花苗植付け みどりのフォーラム（18日） 環境展	花の育苗	秋まき種子の種まき みどりだより第34号発行	秋まき種子の種まき 第2回みどりのつどい	みどりのカーテンツアー	豊中みどりの交流会展（6日・7日） 花苗植付け	ふれあい緑地フェスティバル（3日） 花・ゴーヤの育苗 みどりだより第33号発行 第1回みどりのつどい（27日） みどりのカーテン植付け指導（6月） みどりのカーテンづくりの講習会	春まき種子・ゴーヤの種まき



こんな計画で活動していきます！

平成30年度 第3回みどりのつどい 発表内容

3月11日(日) 10:00~12:00 に花とみどりの相談所にて「みどりのつどい」を行いました。
話題提供として、NPO 法人豊島北ビオトープクラブから「豊島北ビオトープクラブ・これまでの10年とこれから」について発表していただきました。

「豊島北ビオトープクラブ・これまでの10年とこれから」

NPO 法人豊島北ビオトープクラブ：柿本修一さん

活動場所は、ふれあい緑地内にあるとよなか四季彩園と服部ビオパークで、活動の目的は、「生きものとのふれあう自然環境を形成する」「ビオトープの維持管理を行う」「ビオトープを活用する」ことにより、地域の環境保全に寄与することとしています。2004年に発足し、翌年に草地ビオトープ・花壇づくりを開始し、2006年に服部ビオパーク(ふれあい緑地5街区)がオープンしました。2007年にNPO法人として協働事業管理業務を開始し、2014年に水辺のビオトープ(とよなか四季彩園)及びビジターセンター(自然学習センター)をオープンし、翌年にふれあい緑地水族館を整備し、現在に至っています。

◆豊島北ビオトープクラブ憲章◆

- ・私たちは、“猪名川流域と北摂地域の自然環境”と“豊中で古くから維持されてきた農環境”をモデルにビオトープを作り、自然の再生を試みます。
- ・私たちのビオトープには、猪名川流域・北摂地域や豊中に“昭和30年代”までにはなかった生きものやペットを持ち込みません。自然に入ってきた時はできるだけ除きます。
- ・私たちのビオトープでは、農薬や化学肥料などを極力使いません。

ビオトープとは、一般の土地と区別して生物が住みやすい環境づくりをする区域のことで、一般の公園が人間の快適さを目的にしているのに対して、ビオトープの公園は、そこに住む生物が住みやすい環境づくりが目的となります。

服部ビオパークは、広さ0.8ha、2006年に竣工しました。遊戯場、草地ビオトープ、花壇に区分されています。草地ビオトープでは、生きもの観察などを実施し、花壇は、ゾーニングを行い、四季の花畑、ふれあい花壇、いやしの庭、里の庭に区分して、それぞれを特徴づけています。

とよなか四季彩園は、広さ1.1ha、2014年に竣工しました。里山、田んぼ、せせらぎと池、広場、自然学習センターに区分されています。竣工当初は、一面が裸地でありましたが、翌年には様々な植物が生えてきていました。池は、北池と南池があり、北池の方がより自然に近い状態になっています。

自然学習センターでは、ふれあい緑地水族館、パネル、昆虫標本などの展示や図書コーナーなど情報提供を行っています。

その他、室内や野外での講習、土の中の生きもの調べを行ったり、お米づくりや干し柿づくり、自然の素材を使った工作などを行っています。

これまでの活動としては、平成25年度までは、服部ビオパークで、公園の維持管理、春と秋のフェスタ、研究会、講習会などを行い、平成26年度以降は、とよなか四季彩園と服部ビオパークで、2つの公園の維持管理、春と秋のフェスタ、講座の開催、生きものの飼育、標本、やパネルの展示を行っています。

今後は、ビオトープづくりをスポットとして考えるのではなく、生態系ネットワークの拠点として考え、生物多様性の向上に向けて取り組んでいく必要があります。豊中市が新しく策定した第2次豊中市みどりの基本計画の中でも、生物多様性の保全やエコロジカルネットワークの形成が記されており、その拠点として、ふれあい緑地が挙げられていますので、期待しています。私たちのこれからは、服部ビオパーク・とよなか四季彩園の管理といった「公園管理団体」であるのみならず、ふれあい緑地を拠点としてビオトープづくりを推進し、「地域の生態系保全推進団体」へとステップアップすることを目指していきます。皆さんご協力よろしくお願いします。



ふれあい広場 SEED を整備しました

昨年度受賞しました、『第28回 緑の環境プラン大賞 コミュニティ大賞(ポケットガーデン部門)』と『第12回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト 入賞』の副賞で、活動拠点であるSEEDの整備を行いました。多くの方々に興味をもって参加していただけるきっかけとなることを期待しています。



トレリス、パーゴラの設置



樹木の植栽



花壇の整備



作業テーブルの設置、ベンチの改修



新しくなった
ふれあい広場SEEDで、
活動してみませんか！

ふれあい緑地フェスティバルに参加しました！

平成30年5月3日(祝)

たくさんの方にご来場いただき、記念写真、ポット上げ体験、ゴーヤの種まき体験、花苗植付け体験、工作、花苗プレゼントなどを楽しんでもらいました。

